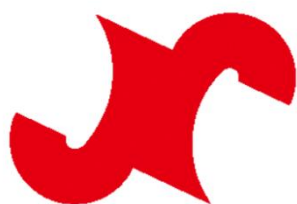


令和7年度
防府市商工業振興施策に関する要望



防府商工会議所

防府市におかれましては、物価高騰、人手不足という厳しい経営環境下にある中小企業に対し、事業維持と活力強化に向けた包括的な支援事業を実施していただいております。また、プリズムストリートやみずかぜ広場など、防府の未来に向けてのまちづくりも着実に進んでおり、今後のまちの活性化に市民の大きな期待の高まりを感じているところです。

さて、日本経済は「停滞から成長」への局面にあり、デフレ克服の好機を迎えていると言われていますが、雇用の約7割を占める中小・小規模事業者は原材料・エネルギー高によるコスト増加や人手不足、持続的な賃上げ等、依然として厳しい経営環境にあります。

また、8月には南海トラフ地震臨時情報が発令、9月には能登半島において豪雨災害がおこるなど、災害に対する備えを一層強化しなければならないことをあらためて意識したところであります。

当所が8月に実施しました経営課題アンケート調査におきましても、原油価格・物価高騰・円安について47%、仕入れコストの上昇に関しては74%、人手不足に関しては54%の事業者が影響を受けているとの回答を得ているところであります。

こうした状況を踏まえ、当所では5つの特別会議「まちづくり特別会議」「ふるさと名物づくり特別会議」「雇用・労働環境特別会議」「会員増強・交流人口増大特別会議」「みなと活性化特別会議」により課題解決、新たな取組の協議を行っているところであります。今後も、地域経済を支える中小・小規模事業者の皆さんと「兄弟わっしょい！防府の未来を目指して」を合い言葉に、成長促進に対しまして、現場主義と双方向主義を徹底し、経営課題とその変化を察し、継続的な支援を実施していきたいと思っています。

また、先月22日、政府が臨時閣議で、13.9兆円の総合経済対策を決定し、経済の成長や物価高の克服、安心・安全の確保など、国民の安心・安全と持続的な成長に向けて政策を進めていくことが示されました。

当所としましても、引き続き防府市と一緒にあって取り組んでまいりたいと思いますので、防府市におかれましては、国の施策と連動し、市内経済の活性化を図り、物価高騰を乗り越えていくとともに、地方創生による魅力的なまちづくりをしていただきたいと思います。

つきましては、令和7年度防府市商工業振興施策に関する要望書を提出しますので、当所の事業運営につきましてご理解を賜り、各種施策や予算措置について特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

令和6年12月6日
防府商工会議所
会頭 羽嶋 秀一

I. 中小企業振興・景気対策等に対する支援の強化

1. 物価高騰に対する個人消費を喚起する施策の実施について
2. 地域中小企業・小規模事業者への支援策の強化と対策予算の拡充
3. 中小企業・小規模事業者の資金調達の円滑化に向けた制度融資等の充実
4. 中小企業・小規模事業者のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進
5. 中小企業の人手不足に伴う雇用対策の強化
6. 土木・建設関連業界への新規就業者の増加を図る施策について
7. 創業並びに事業承継に対する支援の強化

II. 都市基盤整備に向けた支援の強化

1. 国道2号台道鑄銭司間の早期整備について
2. 防府北基地東道路の整備促進について
3. 三田尻大橋周辺の渋滞緩和について

III. 産業振興への支援の強化

1. 三田尻中関港延伸に向けた支援の強化
2. 産業団地の確保並びに企業誘致の推進について
3. 市街化調整区域における土地利用について
4. 公共工事等の継続的確保並びに地元企業への優先発注について
5. バイ防府運動の展開とふるさと納税活用による販路開拓への支援

IV. まちの賑わい創出・観光振興への支援強化

1. 地域の賑わい創出への支援

V. 社会課題に関する支援

1. 脱炭素化・カーボンニュートラルの実現に向けた支援

VI. にぎわいあるまちづくりに向けた中心市街地の整備について

I. 中小企業振興・景気対策等に対する支援の強化

【回答】

貴会議所と連携し、創業・交流センターを拠点に事業者の事業発展・持続化等の取組を支援するとともに、中小企業サポートセンターを中心に市と関係機関が連携し「防府市創業支援モデル」を展開してまいります。

1. 物価高騰に対する個人消費を喚起する施策の実施について

新型コロナウイルス感染症も一段落し、経済活動に明るい兆しが見え始めたものの、物価及び光熱費等の高騰により、依然として消費が力強い回復をしたという実感を持つところまでは至っておりません。総務省の家計調査報告（二人以上の世帯）によると2024年9月の消費支出に関して、二人以上の世帯の一世帯あたりの消費支出は287,963円となり、前月比で3.2%減少、前年同月比で1.1%減少となっています。

物価高騰を上回る持続的な賃上げの実現をしていかなければなりません。中小企業はまだまだ、その対応に時間がかかる場所です。

つきましては、物価高騰の中、地域の景気、中小企業の経営を支える個人消費を喚起する施策の実施を要望します。

【回答】

○エコライフ住宅推進事業

住環境におけるCO2の削減や、市内経済の活性化を図るため、県産木材の使用や省エネ機器導入、断熱改修等の環境に配慮したリフォームに係る経費を助成します。

予算額：5,000万円

■新プレミアム付商品券発行事業

貴会議所と連携し、物価高騰の影響を受ける市内事業者及び市民生活を幅広く応援するため、市内店舗で使用できるプレミアム付商品券を発行します。

予算額：1億円

2. 地域中小企業・小規模事業者への支援策の強化と対策予算の拡充

中小企業・小規模事業者においては、コロナ禍からの活動正常化に伴い売上拡大が図られる一方、原材料や資源価格高騰などコスト増が続き収益を圧迫、また、改正税制への対応や、働き方改革への対応と人手不足の深刻化・事業承継対策など、多くの課題が経営の負担になっています。

つきましては、地域経済の中で重要な役割を担う中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化、経営の持続的発展を支援する為の体制強化について対応を講じていただきますようお願いいたします。

- (1) 市内事業者の事業活動及び創業者の支援を包括的に行う「創業・交流センター」「中小企業サポートセンター（コネク22）」運営に係る支援の強化
- (2) 大幅な経営環境の変化に対する経営改善や事業再生、新規事業展開に取り組もうとする中小企業者に対し開催する「経営革新塾」（令和7年度新規事業）や個別相談会、講習会に対する支援
- (3) 市内の事業者が物価高騰や人手不足に対応する為、生産性向上につながる取り組みに対する支援
- (4) 商品やサービスの付加価値向上、価格転嫁を目指す中小企業への支援強化
- (5) 取引適正化を目指す「パートナーシップ構築宣言」の周知・働きかけ強化

【回答】

○チャレンジほうふ中小企業成長発展事業

中小企業者の多様な経営課題の解決を図るため、デジタル化や脱炭素に関する相談など、中小企業者の事業発展・持続化や創業を支援します。

予算額：2,486万円

■販路開拓促進事業

■海外販路拡大事業

■ふるさとものづくり支援事業

地場製品の販路拡大を図るため、山口県や(一社)地域総合整備財団、貴会議所等と連携し、中小企業者等の新商品の開発及び大都市圏や海外への売り込みを支援します。

予算額：1,050万円

■市内事業者省力化設備等導入支援事業

市内事業者が人手不足に対応するために行う、省力化・デジタル化等による生産性向上に資する設備等の導入を支援します。

予算額：5,000万円

○小規模企業者育成支援事業

貴会議所が実施する、小規模事業者を対象とした各種セミナー等の開催を支援します。

予算額：120万円

3. 中小企業・小規模事業者の資金調達の円滑化に向けた制度融資等の充実

ゼロゼロ融資いわゆるコロナ特別貸付において、実質無利子・無担保で融資を行う施策でコロナ禍によって影響を受けた多くの事業者の支えとなりました。返済が本格化し始めたなかで、原材料費や資源価格の高騰、さらには賃上げと、新たな課題により、資金の調達や資金繰り償還が厳しくなっている中小企業があります。つきましては防府市中小企業振興資金における対応制度の継続、充実していただきますよう要望します。

(1) 経営環境改善対策資金において

- ① 返済期間について運転資金を7年、運転設備資金を15年に延長
- ② 山口県信用保証協会に対する保証料全額負担の継続

(2) 原油価格・物価高騰対策資金において

- ① 賃上げにより資金繰りが安定しない事業者に対する支援
- ② コロナ特別融資が条件緩和中であっても、寄り添った対応をしていただくよう関係機関への働きかけ
- ③ 山口県信用保証協会に対する保証料全額負担の継続

(3) 経営環境の変化に対して新規事業展開等へ果敢に取り組もうとする中小・小規模事業者を後押しするための、金融支援制度の創設。

(4) 地域総合整備財団（ふるさと財団）の活用について

ふるさと財団の「ふるさと融資」は地域振興に資する民間投資を誘発することで地域政策課題に対応し、地域の雇用創出・確保につなげるための積極的な活用と民間金融機関への働きかけ。

【回答】

拡 中小企業振興資金融資事業

原油価格・物価高騰対策資金

新 生産性向上設備導入資金

新 地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）

市内中小企業者等に対する金融の円滑化を図るとともに、地域振興に資する事業に取り組む事業者の設備投資を支援します。

予算額：9億1,366万円

4. 中小企業・小規模事業者のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進

新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、急速に浸透したデジタル技術の活用により確立された非対面型の経済活動や、長期間に及んだ感染症の影響により、地方移住への関心や人の流れの変化により中小企業・小規模事業者でも、テレワークなど新たな働き方への動きが活発になるなど、デジタルは地方の抱える社会課題を解決するための鍵であり、新しい付加価値を生み出してきました。

日々進化しているデジタル技術を活用し変革していくことは、中小企業・小規模事業者の経営力強化に係る取組を後押し、地域経済における人材不足の解消に繋がることから、DX推進に係る支援体制の強化について対策を講じて頂きますよう要望します。

- (1) やまぐち DX推進拠点Y-BASEのコンサルティングと連携して、デジタル技術を活用した業務の変革や事業展開等に対する支援。
- (2) Y-BASE 防府サテライトの利用者が増加しています。申込者がタイムリーに相談対応できるよう Y-BASE への働きかけ。
- (3) 業務効率化につながる設備やデジタル技術の導入は、人手不足の解消につながるだけでなく、限られた経営資源を販路の拡大や新たな事業の創造など成長に直結する活動に割くことができるため、省人化に資する設備・ITサービスの導入に対する補助制度の創設。
- (4) デジタル・IT人材養成を目的とした関連スキルの研修受講等に対する支援。
- (5) 行政手続の簡素化及びオンライン化による取組の推進。

【回答】

○チャレンジほうふ中小企業成長発展事業

【再掲】中小企業者の多様な経営課題の解決を図るため、デジタル化や脱炭素に関する相談など、中小企業者の事業発展・持続化や創業を支援します。

予算額：2,486万円

新 市内事業者省力化設備等導入支援事業

【再掲】市内事業者が人手不足に対応するために行う、省力化・デジタル化等による生産性向上に資する設備等の導入を支援します。

予算額：5,000万円

○人材育成支援事業

キャリア形成支援や労働条件の向上のため、中小企業が取り組む労働者（外国人材含む）へのリスクリング等の人材育成を支援します。

予算額：100万円

○女性活躍サポート事業

働く意欲のある女性の就職につながるデジタル技術の習得を支援します。

予算額：150万円

○中小企業振興資金融資事業（DX・カーボンニュートラル導入資金）

DXに必要な設備導入に取り組む中小企業者等を支援します。

予算額：5,500万円

○窓口の手続きスマート化事業

転入等の申請書類のデジタル化や職員の音声の字幕表示などに取り組みます。

予算額：683万円

5. 中小企業の人手不足に伴う雇用対策の強化

人材確保はあらゆる業種において厳しい状況にあります。採用活動も活発化していますが、中小・小規模事業者は限られた経営資源の中で大企業と同じ採用活動を行うことは困難であり、魅力的な企業であっても人材確保に苦慮しているところでもあります。

つきましては、地域経済を支える中小・小規模事業者が事業継続するために必要な人材確保のための支援を要望します。

- (1) 市内中小企業者等の人材確保と求職者の市内就職を促進するため、人材確保を目的とした効果的な採用活動や企業情報の発信等への支援の継続実施。
- (2) 若者の市内定住促進及び離職率低減を目的に実施した市内企業と高校・大学生とその保護者に向けて実施する「防府の見栄える企業ナビ（企業説明会）」の開催支援。
- (3) 人材確保や労働生産性の向上に向けて、従業員の新たな能力開発に取り組む市内中小企業者を対象に、業務上必要なスキルの習得や新たな技術導入に係る研修等への支援。
- (4) 子育て世代が安心して働くことができる支援策の検討をしていただくと共に、官民の支援策から自身に適したサービスを選べるよう、情報の一元化周知の検討を要望します。
- (5) 外国人労働者が安定して就労するためには、安心して生活や労働ができる環境整備が不可欠であります。官民が連携し法律・文化・風習等日常生活全般についての取組、課題を共有、解決策を検討する協議会の設置を要望します。

【回答】

○中小企業人材確保支援事業

市内中小企業者の人材確保を促進するため、企業情報の発信や効果的な採用活動に取り組む中小企業者等を支援します。

予算額：2,000万円

拡就業相談支援事業

働く意欲のある女性や高齢者が、就労に関して気軽に相談できる専用の窓口を設置するとともに、セミナーや座談会等を実施し、本人の希望に寄り添った就職支援を行います。

予算額：500万円

○企業の魅力発信事業

市内企業の魅力を発信することで、若者等の地元定着率の向上を図ります。

予算額：660万円

○働き方改革促進事業

働きやすい職場環境の形成を促進することにより、人材の確保・定着を図ります。

予算額：650万円

○人材育成支援事業

【再掲】キャリア形成支援や労働条件の向上のため、中小企業が取り組む労働者（外国人材含む）へのリスキリング等の人材育成を支援します。

予算額：100万円

新緊急就労応援事業（運送業・介護士・保育士・看護師）

人手不足が深刻な運送、介護、保育、看護分野において、人材確保に向けた支援を行います。

予算額：1,500万円

○運転士不足対策事業（バス・タクシー）

山口市と連携し、バス・タクシー事業者の人材確保に向けた支援を行います。

予算額：600万円

6. 土木・建設関連業界への新規就業者の増加を図る施策について

少子高齢化が進む中、土木・建設現場を支える施工管理技術者や技能労働者の不足が深刻度を増しているうえに、29歳以下の従事者の割合は1割に落ち込んでいます。土木・建設業は、地域の生活や産業を支えるインフラ整備を担うばかりでなく、災害発生時には復旧・復興に携わるなど、地域社会の維持・発展に欠かすことの出来ない産業であります。

資格を習得する場・職人を養成する場づくりにより、持続可能な成長を続ける業界となるよう、産学官連携による人材育成のスキームづくりを要望します。

【回答】

○中小企業人材確保支援事業

【再掲】市内中小企業者の人材確保を促進するため、企業情報の発信や効果的な採用活動に取り組む中小企業者等を支援します。

予算額：2,000万円

○企業の魅力発信事業

【再掲】市内企業の魅力を発信することで、若者等の地元定着率の向上を図ります。

予算額：660万円

○働き方改革促進事業

【再掲】働きやすい職場環境の形成を促進することにより、人材の確保・定着を図ります。

予算額：650万円

○人材育成支援事業

【再掲】キャリア形成支援や労働条件の向上のため、中小企業が取り組む労働者（外国人材含む）へのリスキリング等の人材育成を支援します。

予算額：100万円

7. 創業並びに事業承継に対する支援の強化

防府市の支援を受けて当所が運営を行っております「創業・交流センター」「中小企業サポートセンター（コネクト22）」の令和5年度の実績として、年間462件の相談に対応し、62件の創業者を輩出するとともに、17件の事業承継成立を支援しています。大変成果は出ているものの、地域の開業率の引き上げや、雇用の創出、産業の新陳代謝を進めて行くには継続的な支援が重要と考えています。

つきましては、創業への機運醸成のための起業・創業希望者が交流できる機会づくりを含め、下記事項について引き続き支援を要望します。

- (1) 創業セミナー「防府創業塾」の開催支援。
- (2) 創業機運を醸成する為の支援制度拡充。
- (3) 資金力の乏しい創業者に対し、特定創業支援事業認定者に対する優遇措置として、防府市振興資金を利用する際の金利引き下げと保証料全額負担の継続。
- (4) 事業後継予定者による承継計画の策定支援及び参加者間交流を目的とした「防府後継者塾」の開催支援。
- (5) 企業を取り囲む環境変化などに対応して経営の向上を図る取り組みに対し伴走支援で行う「経営革新塾」の開催支援（再掲）。

【回答】

○チャレンジほうふ中小企業成長発展事業

【再掲】中小企業者の多様な経営課題の解決を図るため、デジタル化や脱炭素に関する相談など、中小企業者の事業発展・持続化や創業を支援します。

予算額：2,486万円

拡創業・チャレンジ応援事業

コネクト22が中心となり、市と金融機関が連携し、「創業準備」から「開業」そして「成長」まで、様々な創業支援を展開します。

予算額：1,402万円

○まちなか創業促進事業

まちの賑わいを創出するため、創業者の空き店舗等を活用した出店やイベントへのスポット出展を支援します。

予算額：400万円

II. 都市基盤整備に向けた支援の強化

【回答】

国、県、市で連携して、新たな道路網「防府・未来ネットワーク」の構築を進めてまいります。

1. 国道2号台道鑄銭司間の早期整備について（継続）

一般国道2号の台道鑄銭司間の4車線化及び歩道の設置について、山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会と一般国道2号防府山口間整備促進民間期成同盟会による国への要望により、調査費・設計費用が予算化されました。本区間は両市の物流の大動脈となっているだけでなく、市街地の渋滞緩和、交通安全を確保するためにも、早期の拡幅・整備を富海拡幅工事の早期完成とともに、今後も一緒に国へ働きかけを行っていくことを要望します。



【回答】

○国道2号台道・鑄銭司間拡幅促進事業

県・山口市と連携し、台道鑄銭司間の4車線化の事業促進を図ります。

予算額：420万円

2. 防府北基地東道路の整備促進について（継続）

中関周辺には多くの工場に従業員が就労し、時間帯によってかなりの渋滞が発生しています。近年の激甚化・頻発化する災害に鑑み、強靱で信頼性の高いネットワークの構築による安全・安心な社会の実現のために放射・環状交通網が不可欠であることから、今後、県立総合医療センター、広域防災広場へのアクセス道路も含め、整備促進を強く要望します。



【回答】

○防府北基地東道路整備事業

北基地周辺の緊急輸送道路の確保や周辺道路の混雑緩和を図るため、新たな道路を整備します。

予算額：2億9,605万円

3. 三田尻大橋周辺の渋滞緩和について

都市計画道路環状1号線の沖今宿から中関区間は工場地帯への輸送、港湾利用を図る上で重要なルートとなっております。現在、防府市クリーンセンター南側の道路および、国道2号へのアクセス道路の整備が進められておりますが、三田尻大橋が対面通行によりボトルネックとなっていることや、三田尻港入口交差点～三田尻大橋交差点までの短い距離に2機の信号機があることにより、今後、さらなる渋滞を引き起こすことが予測されます。物流は地域産業にとって血管であり、企業経営においても乗務員の労働時間を制限することが求められていることから、三田尻港入口交差点から新築地へ4車線で直接往来が可能となる三田尻大橋の橋梁架替・整備、信号機の時間帯による間隔変更等について関係各機関へ特に強く要望されますようお願い致します。



【回答】

都市計画道路環状一号線新田工区の延伸を、引き続き県に要望してまいります。
併せて、信号機の時間帯による間隔変更等について、県公安委員会に対し、強く要望いたします。

Ⅲ. 産業振興への支援の強化

【回答】

道路・港湾等の産業基盤の強化を図るとともに、貴会議所と連携して、ふるさと納税制度を活用し地元製品の販路拡大につなげてまいります。

1. 三田尻中関港延伸に向けた支援の強化

国道2号の4車線化が進み、アクセスが改善することで、防府市が物流の拠点として重要になってくることが期待されます。加えて物流の2024年問題の対策として、三田尻中関港による海上輸送への注目は一段と高まって来ており、県央立地、水深12mという大型船に対応できる港として三田尻中関港のポートセールスを行い、船舶輸送ユーザーの増加を官民連携して図って参りたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

- 1) 三田尻中関港利用促進協議会の継続的な支援。
- 2) 三田尻中関港の船舶輸送ユーザー増加を図っていくための官民が一緒になったポートセールスの実施。
- 3) 3号岸壁延伸への国・県への働きかけ。



【回答】

○港湾利用促進事業

3号岸壁の延伸を目指し、県や令和6年度に立ち上げた三田尻中関港利用促進協議会と連携しながら、三田尻中関港の利用促進を図ります。

予算額：100万円

2. 産業団地の確保並びに企業誘致の推進について

企業誘致の促進は地域経済の活性化や就労環境の創出につながるとともに、既存企業との共存共栄が期待できる企業であればさらにその相乗効果は高くなると言われていています。現在、企業立地においては物流の2024年問題などから道路の利便性に加え、自然との調和し環境に配慮した場所が人気となっていると聞いています。防府市は国道2号の4車線化、県央の工業港である三田尻中関港、豊富な工業用水を有するなど、工業用地としては非常に魅力ある場所であることから、引き続き、企業誘致の推進を要望します。

- (1) 防府第2テクノタウンへの企業誘致の推進
- (2) 高速道路のインターチェンジや三田尻中関港とのアクセス性の高い産業団地の整備

【回答】

新産業団地整備事業

大道地区への産業団地整備に向け、防府土地開発公社が設計等を行います。

予算額：100万円

○企業立地の推進

山口県や関係機関と連携しながら、引き続き企業誘致を行います。

予算額：404万円

3. 市街化調整区域における土地利用について

第5次総合計画による道路整備は市街化調整区域のエリアに住宅用地・産業用地・業務用地として新たなポテンシャルを生み出すことが予測されます。利用ニーズの高い地区において、効果的な土地利用が進むよう検討をお願いします。

【回答】

第5次総合計画による道路整備は、本市の産業にさらなる活力を与えるものと考えますので、各地域の特性を踏まえ、適正かつ効率的な土地利用になるよう検討してまいります。

4. 公共工事等の継続的確保並びに地元企業への優先発注について

建設業界は、市民生活の基盤整備だけでなく地域経済を支える重要な役割を担っておりますが、エネルギー価格の高騰、建設資材の高止まりが長期化していることに加え、人手不足や技能労働者の高齢化など、依然として厳しさが続いております。このような状況の中で、年間を通じて安定した経営を維持するためには、工事発注の平準化や適正な工期の設定、受注機会の確保、人材不足への対応が必要不可欠です。

つきましては、裾野の広い業界であります建設業界の振興に資する下記について要望します。

- (1) 公共工事費の継続的確保並びに発注の平準化
- (2) 多様な地元企業の受注機会を増やすための分離発注方式の採用
- (3) 原材料、資材、エネルギー価格高騰へ発注価格の柔軟な対応

【回答】

発注時期が偏ることがないように、年間を通じた発注の平準化に努めます。

引き続き市内業者を優先して選定していきます。

公共工事等の予定価格に最新の取引価格を適正に反映するとともに、契約後の価格変動にも、適切に対応していきます。

5. バイ防府運動の展開とふるさと納税活用による販路開拓への支援

地域内のさらなる消費の拡大と一層の経済循環を図るため、地元産品愛用運動を含めた地産地消の「バイ防府運動」を実施しておりますが、消費者の情報入手も多岐に亘るなかで、既存商品のブラッシュアップと市民に愛される商品、防府らしさを味わえるお土産づくりを市と一緒に展開していきたいと思っておりますので支援をお願いします。

- (1) 「幸せます」ブランド商品や地元産品を積極的活用した商品開発・販売支援
- (2) ふるさと納税を活用した地元産品の販路拡大、周知への取組支援
- (3) インバウンド・海外市場向け商品開発、販路開拓支援

【回答】

拡販路開拓促進事業

新海外販路拡大事業

新ふるさとものづくり支援事業

【再掲】地場産品の販路拡大を図るため、山口県や(一社)地域総合整備財団、貴会議所等と連携し、中小企業者等の新商品の開発及び大都市圏や海外への売り込みを支援します。

予算額：1,050万円

○ふるさと寄附金推進事業

新たな指定寄附事業により市の取組を発信するとともに、貴会議所等と連携し返礼品のブラッシュアップを続け、あらゆる機会を捉えて売り込み活動を展開することで、更なる防府ファンの獲得や地場産業の振興を図ります。

予算額：2億5,000万円

IV. まちの賑わい創出・観光振興への支援強化

【回答】

国、県、貴会議所等と連携し、魅力あるまちづくりを進めるとともに、集中的な観光需要の喚起を図ってまいります。

1. 地域の賑わい創出への支援

令和6年度の幸せますフェスタも計画通りに開催しており、多くの人で賑わうとともに、まちの魅力を感じていただいているところであります。9月に竣工しました、笑顔満開通りと出会いの広場を結ぶ、「みずかぜ広場」は、幸せますフェスタにおいても、人の流れと、多くの出会いを生む場所となることを感じています。また、メバル公園では、新たにインクルーシブ遊具が設置され、キッチンカーの駐車場も確保され、多くの家族連れが楽しめる場所となっています。

防府市は豪華寝台列車 TWILIGHTEXPRESS「瑞風」の停車で注目を浴びています。また、昨年からみんなが笑顔になり、集客力のある「もちまき」を行事ごとに行い「もちまきのまち防府」の定着も図っています。さらなる賑わいの創出、観光振興事業を実施してもらおうと共に、幸せますフェスタ実行委員会へ引き続きの支援を要望します。

- (1) 幸せますフェスタの各事業への継続支援
- (2) 豪華寝台列車 TWILIGHTEXPRESS「瑞風」の停車による観光誘客の促進と市内観光施設への事業展開
- (3) 大手工場や知と技の拠点と連携した産業観光、体験型観光による地域振興の推進
- (4) 自衛隊北基地・南基地での体験型観光(ツアー)の実施

【回答】

拡観光コンベンション推進事業

予算額：6,011 万円

拡情報発信・おもてなし力強化事業

交流人口拡大に大きく寄与している「幸せますフェスタ」への支援継続に加え、TWILIGHTEXPRESS 瑞風の立寄りや大阪万博を契機とした防府の魅力発信、今年開催されるプレ DC での体験コンテンツの販売などを通じて、更なる誘客を図ります。

予算額：1,615 万円

○みずかぜ広場整備事業

活力ある中心市街地を形成するため、みずかぜ広場(防府駅南北自由通路)の修景整備を行います。

予算額：2,570 万円

新銀座商店街道路整備事業

貴会議所や商店街振興組合と一体となって、市道天神町協和線を、まちなかにふさわしい道に整備します。

予算額：5,000 万円

○まちなか創業促進事業

【再掲】 まちの賑わいを創出するため、創業者の空き店舗等を活用した出店やイベントへのスポット出展を支援します。

予算額：400 万円

○まちの賑わい創出・元気発信事業

まちの賑わいを創出するため。民間団体等が実施する回遊性の高いイベント等の開催経費の一部を補助します。

予算額：400 万円

新「もちまきのまち ほうふ」推進事業

貴商工会議所と一体となって、市内のイベントでの「もちまき」を推進するとともに、市のイベントにおいても積極的に実施することとしています。

予算額：100 万円

V. 社会課題に関する支援

【回答】

貴会議所と連携し、カーボンニュートラルの実現に取り組む中小企業者を支援してまいります。

1. 脱炭素化・カーボンニュートラルの実現に向けた支援

「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の推進に向けて、市内の事業所も成長につながる分野として積極的に取り組んでいくことが重要です。好事例の公表等による情報発信を積極的に行っていただくようお願いします。

また、住宅・建築物に係るCO₂排出量は一般的な建物で、建設時で約2割、使用時で約8割を占めていることから、それぞれの排出量削減が欠かせません。新たに建設・増改築する建物は、今後数十年使い続けることから、現時点で十分な省エネ性能を確保する必要があります。さらに、製造業をはじめ、排出量の多い業種である小売業・サービス業・宿泊・飲食業といった業種の取り組みも欠かせません。つきましては、省エネリフォームやカーボンニュートラル促進に対する支援の継続を要望します。

【回答】

○エコライフ住宅推進事業

【再掲】住環境におけるCO₂の削減や、市内経済の活性化を図るため、県産木材の使用や省エネ機器導入、断熱改修等の環境に配慮したリフォームに係る経費を助成します。

予算額：5,000万円

○チャレンジほうふ中小企業成長発展事業

【再掲】中小企業者の多様な経営課題の解決を図るため、デジタル化や脱炭素に関する相談など、中小企業者の事業発展・持続化や創業を支援します。

予算額：2,486万円

○中小企業振興資金融資事業（DX・カーボンニュートラル導入資金）

DXに必要な設備導入に取り組む中小企業者等を支援します。

予算額：5,500万円

VI. にぎわいあるまちづくりに向けた中心市街地の整備について

当所では人口減少が進む中で、地域経済を活性化していくには、域内で安定した個人消費が生み出されることが必要だと考えています。観光庁によると定住人口1人当たりの年間消費額（130万円）は旅行者の消費に換算すると日帰りの国内旅行者75人にあたりとされていることから、人口減少分を交流人口の増加によって生じる経済的な利益によって代替することができ、そのためには増加（吸引）の基盤となるまちづくりにしっかりと取り組んでいくことが重要と考えています。

防府市は防府天満宮、国分寺、毛利氏庭園など歴史的観光地や昔ながらの魅力多い街並みがあり、一級河川佐波川の豊かな水、一年を通じて温暖な気候という強みを持つ中で、現在、駅を中心としたまちなかの整備が進められています。駅から天満宮へ向かう途中にある天神町銀座商店街においても、昭和41年に建築され老朽化したアーケードの撤去に向けた協議が地元商店街振興組合の中で始まりました。加えて、今年度は豪華寝台列車「瑞風」が停車、3年後の令和9年には防府天満宮1125年式年大祭が開催されるなど、まちなかに交流人口を呼び込む絶好の機会が到来しています。

防府のまちなかが市民や防府市を訪れた人たちにとって心地よく回遊でき、魅力ある場所となることが地元経済の活性化につながります。当所としても責任をもって商店街をはじめ地元等との整備を行いたいと考えておりますので、地方創生の観点も踏まえ、銀座商店街から防府天満宮への道路整備を含めた複合的な環境整備を要望します。

【回答】

まちなかの賑わい創出に向け、まちなかにふさわしい道（市道天神町協和線）の整備やみずかぜ広場の修景施設等の整備を行います。

○みずかぜ広場整備事業

【再掲】活力ある中心市街地を形成するため、みずかぜ広場（防府駅南北自由通路）の修景整備を行います。

予算額：2,570万円

新 銀座商店街道路整備事業

【再掲】貴会議所や商店街振興組合と一体となって、市道天神町協和線を、まちなかにふさわしい道に整備します。

予算額：5,000万円

○まちなか創業促進事業

【再掲】まちの賑わいを創出するため、創業者の空き店舗等を活用した出店やイベントへのスポット出展を支援します。

予算額：400万円

○まちの賑わい創出・元気発信事業

【再掲】まちの賑わいを創出するため。民間団体等が実施する回遊性の高いイベント等の開催経費の一部を補助します。

予算額：400万円